

## 新人看護職員研修事業

### I. 貴施設に関すること

1. 施設名 ( 医療法人 博文会 紀の川クリニック )
2. 所在地 ( 和歌山県 岩出市 )
3. 設置主体 ( 医療法人 博文会 紀の川クリニック )
4. 施設の種類 A 病院  B 有床診療所  C 無床診療所  
D 助産所  E 介護老人保健施設  
F 指定訪問看護事業所
5. 許可病床数(病院のみ) ( )床
6. 病床区分  A 一般病床  B 療養病床  C 精神病床
6. 看護単位の数 ( )単位
7. 一般病棟入院基本料区分(病院のみ) ・ 7:1 ・ 10:1 ・ 13:1  
・ 15:1 ・ その他  
療養病棟入院基本料区分 ・ 20:1 ・ 25:1  
精神病棟入院基本料区分 ・ 10:1 ・ 13:1 ・ 15:1  
・ 18:1 ・ 20:1
8. 新人看護職員の指導体制  
専任の看護教育部門 A 有  B 無  
看護部門の専任の教育責任者 A 有  B 無  
(※注:「専任」とは、専ら、院内の継続教育を業務とする看護職員を配置している場合をいいます。)
9. 平成23年4月30日時点での看護職員数(実人員) ( 33 )名
10. 平成22年度中に離職した看護職員の離職率 ( 13.9 ) %
11. 9. のうち、新人看護職員数(実人員) ( 2 )名
12. 10. のうち、新人看護職員離職率 ( 0 ) %
13. 新人看護職員研修内容の公開 A 有  B 無  
\* 有の場合、その公開方法をご記入ください。

(※注1:「新人看護職員」とは、免許取得後に初めて就労する保健師、助産師、看護師又は准看護師をいいます。)

(※注2:5. から8. については、平成23年4月30日現在にてご記入下さい。)

## II. 研修内容に関すること

1. 研修期間 ( 12 )か月

### 2. 研修プログラム

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付けて 下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
H23.4	新人オリエンテーション	○		部署内	1時間	臨床の現場に立つにあたり、より安全に、より円滑に業務に携わることが出来ることを目的とする。透析専門クリニックとしての特色の理解と看護師としての役割や心構えについて教育担当看護師が講義を行う。
	消防訓練		○	部署外	1時間	防火訓練、災害発生時の初期行動や施設内消火器設置の定位置の把握及び避難ルートの把握をする。
H23.5	感染管理-1	○		院外	5時間	和歌山県看護協会主催の研修に参加。スタンダードプリコーション・感染経路別対策・職業感染予防・防護用具の使用方法などについて学ぶ。
	感染管理-2	○	○	院外	2時間	日赤主催研修へ参加。職業感染の理解・針刺し、切創、体液曝露の知識の習得・感染性廃棄物、医療廃棄物の処理法について学ぶ。
	基本的なスキンケア	○	○	院外	4時間	日赤主催研修へ参加。皮膚の構造と生理機能、皮膚に影響を与える因子、高齢者の皮膚の特徴、様々なスキンケア、医療用テープの特徴と正しい使用法、オムツの特徴や正しい当て方について学ぶ。
	与薬と注射	○	○	院外	5時間	和歌山県看護協会主催の研修に参加。危険な薬剤の種類、薬剤の安全な取り扱い方、麻薬・劇薬における看護職の法と倫理について学ぶ。注射については皮下・筋肉・静脈注射のポイントについて学ぶ。
	フットケアセミナー	○		部署内	1時間	透析患者のフットケアの重要性とセルフケアについて学ぶ。
	透析看護セミナー①	○		部署内	40分	外部講師を招き、基礎編/ステップアップ編として透析患者と向き合うための心構えについて学ぶ。
	CAPDナースカレッジ	○	○	院外	5時間	大阪千里ライフサイエンスC会場、バクスター主催のCAPDナースカレッジへ参加。PDの原理と特徴、PD看護の特殊性と患者教育の実際、基本的なPDシステムと操作手順について学ぶ。
H23.6	環境調整	○	○	院内	2時間	教育実地担当者による講義と演習を行う。ベッド周囲の環境整備、リネン交換、温度、湿度、換気、採光、騒音などの環境整備について学ぶ。
	演習を通して看護技術を習得する	○	○	院外	5時間	和歌山県看護協会主催の研修参加。静脈注射、留置針挿入、導尿、経管栄養法について学ぶ。
	接遇マナーセミナー	○		院内	2時間	外部講師を招き患者とのかかわり方、人と接するマナーや態度について学ぶ。
	医療安全管理	○		部署内	1時間	外部講師を招き一般的な事例を通しその対策や法律について学ぶ。
	活動・休息	○	○	院内	90分	外部講師を招き安全な移動介助、車椅子やストレッチャー使用時の移送と介助、両肢位の保持、ボディーメカニクスを活用した体位変換、意識レベル低下や麻痺など活動制限のある患者の体位変換について学ぶ。
	透析看護セミナー②	○		部署内	1時間	外部講師を招き、CKDの病態と治療について学ぶ。

H23.7	症状・生体機能検査	○	○	部署内	2時間	教育実地担当者による講義と演習を行う。バイタルサイン測定と評価、心電図の装着と測定、ホルター心電図の管理、内視鏡検査の説明と準備、血栓除去術の準備と介助、腎生検前後の看護について学ぶ。
	排泄援助・清潔・衣生活	○	○	院内	2時間	教育担当者1名、実地指導者1名により、排泄のアセスメントと援助、尿器便器の介助、留置カテーテル挿入中の看護、導尿、摘便、浣腸、ストーマケア、熱気浴、清拭、洗髪、口腔ケア、陰部ケア、入浴足浴ケア、寝衣交換について学ぶ。
	新人看護師のためのリスクマネジメント	○	○	院外	5時間	和歌山県看護協会主催の研修に参加。リスクマネジメントとは、新人看護師が遭遇しやすいエラー、エラーとその対処方法、危険予知とトレーニングについて学ぶ。
	透析看護セミナー③	○		部署内	1時間	外部講師を招き、バスキュラーアクセスの適切な管理について学ぶ。
	レクリエーション		○	院内	1時間	新人看護師と教育実地指導者との交流を深める。
H23.8	人工呼吸器装着患者の看護を学ぼう	○		院外	5時間	和歌山県看護協会主催研修参加。人工呼吸器に必要な知識、人工呼吸器の基本モード・アラーム対処法、人工呼吸器装着患者の看護を学ぶ。
	透析看護セミナー④	○		部署内	1時間	外部講師を招き、透析液清浄化基準について学ぶ。
	フットケアセミナー	○		部署内	1時間	外部講師を招き、足白癬の病態と治療・看護・予防法について学ぶ。
H23.9	褥瘡看護セミナー	○		院内	1時間	外部講師を招き、褥瘡発生の機序・治療・看護・予防について学ぶ。
	危険な不整脈	○		部署内	1時間	心電図の基礎・読み方、放置すると重篤化する不整脈について新人教育担当者からの講義により学ぶ。
	フットケアセミナー	○	○	部署内	1時間	実地指導者のより末梢動脈疾患について、足のチェックシートの活用・アセスメント方法を実際の患者さんを対象にケアの実際を学ぶ。
	新人の為の看護倫理	○	○	院外	5時間	和歌山県看護協会主催研修参加。看護者の責務・倫理綱領の理解・看護場面における倫理的判断、倫理的諸問題への対応を学ぶ。
	透析看護セミナー⑤	○		院内	1時間	外部講師を招き透析患者の血圧管理について学ぶ。
H23.10	新人看護職リフレッシュ研修	○	○	院外	5時間	和歌山県看護協会主催研修参加。臨床心理士による早期離職防止についての講義・演習を受ける。
	ストレスマネジメント	○		部署内	1時間	実地指導者によるストレス反応とその対処法、感情労働と看護・心理・相談窓口へのアクセス方法について学ぶ。
	急性期重症患者の呼吸管理を学ぼう	○		院外	5時間	和歌山市医師会主催研修参加。呼吸メカニズム、フィジカルアセスメント、呼吸ケア、救急処置について学ぶ。
	災害教室	○	○	院内	3時間	災害時における心構えと行動、必要な準備について習得する。また、透析室内では、緊急離脱をはじめ安全な避難や避難後の安全管理について学ぶ。

H23.11	周手術期の看護	○		部署内	1時間	実地指導者により、手術を受ける患者の情報収集と、術前のケア、手術を受けた患者の観察および手術後の援助について学ぶ。
	認知症看護	○		院外	1.5時間	和歌山県看護協会那賀支部主催研修参加。認知について知る、脳解剖生理と認知の発生と治療について学ぶ。
	フットケアセミナー	○		院内	1時間	外部講師を招き糖尿病性足病変およびASOによる足病変について学ぶ。
	透析看護セミナー⑥	○		部署内	1時間	外部講師を招き保存期CKD患者における治療と管理方法について学ぶ。
	透析看護	○		部署内	1時間	実地指導者により透析合併症・透析認知症について講義を受ける。
H23.12	安全管理研修①(血液製剤編)	○		院内	0.5時間	薬剤部より血液製剤の種類と使用時のリスクについて学ぶ。
	安全管理研修②(薬剤編)	○		院内	0.5時間	当院薬剤部より、危険な薬剤、麻薬の取り扱い、薬剤アレルギーについて学ぶ。
	透析看護セミナー⑦	○		部署内	1時間	外部講師を招き新型インフルエンザ対策について学ぶ。
	レクリエーション	○	○	院内	1時間	新人看護師、実地指導者、教育担当者の交流を深める。エコグラムを使って自分自身を知る。
H24.1	摂食・嚥下障害看護	○	○	院外	5時間	和歌山県看護協会主催研修参加。摂食・嚥下障害の看護、フィジカルアセスメントとケア方法について学ぶ。
	透析看護セミナー⑧	○		部署内	1時間	外部講師を招き、透析患者の心理、精神症状と透析患者の心理ケアについて学ぶ。
	医療機器安全管理セミナー	○		院内	1時間	透析室技士部より医療機器使用時における事故とその防止対策について学ぶ。

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 形式には講義・演習の当てはまる方に○を記入して下さい。両方に○を記入しても差し支えありません。

※3 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※4 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

### 3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

研修責任者(兼任)・・・透析室看護師長 1名

教育担当者(兼任)・・・病棟看護師長 1名、透析室看護主任 1名、技士部主任 1名

実地指導者(兼任)・・・病棟看護主任 1名、病棟看護師 1名、透析室看護副主任 1名  
透析室看護師 1名、技士部副主任 1名

### 4. 各看護単位では経験できないが、新人看護職に必要な知識・技術の修得方法

透析室での知識・技術の修得方法は、プリセプタ制、チーム支援型の混合で教育していく。各看護単位では経験できない新人看護職員に必要な知識、技術の修得については病棟・一般外来の教育担当者、実地指導者によるプリセプタ制で、講義・演習をしていく。また、院内で修得が不可能とみなされる知識、技術の修得に関しては、該当する院外研修に参加する。院内教育では、DVDや看護技術本を参考にし、一年間でなるべく多くの知識、技術を修得できるよう教育担当者、実地指導者はプログラム立案、改案する努力をしていく。

### 5. 経験できる技術が少ない場合の工夫

院外研修として、和歌山県看護協会及び和歌山市医師会や透析関連セミナーへ積極的に参加をするよう働きかけた。

外部講師として、近隣の中核施設をはじめ、関連各種の有識者による講義を頂くことにより、院内では経験できる機会の少ない技術や知識を修得できるとともに、経験のあるスタッフも一緒に参加することで新たなディスカッションの場を設けられるため、各担当者が招聘のための関係作りへの努力を惜しまなかった。

## Ⅲ. 新人看護職員の到達度等の評価に関すること

### 1. 評価時期(自由にご記入ください)

透析に関する看護技術については、一定期間の教育後チェックリストに従い新人教育担当者が評価する。到達目標を3ヶ月とする。そのうえで教育担当者、研修責任者が最終の評価を行う。その他の基礎看護技術については、3・6・12ヶ月後に評価を行う。到達目標は1年とするが、早期評価できるものはなるべく早く実地し、目標到達したことを新人看護師及び周囲のスタッフに周知させる。

院内で経験できない技術に関しては、外部研修参加後2週間以内にレポートを提出し、口答試験にて一定の評価を得られれば次の段階に進む。

## 2. 評価者(自由にご記入ください)

自己評価:①1人でできる②援助があればできる③できないの評価を自身が行いチェックシートに記入させる。

他者評価:自己評価で上記①であっても各担当者の評価が満たない場合には、一定のレベルまで引き上げるための再教育を行い、上記①②になるまで評価を続ける。

## 3. 評価方法(自由にご記入ください)

基礎看護技術を11項目(環境、食、排泄、活動・休息、清潔、コミュニケーション、症状・生体機能管理、呼吸・循環管理、創傷・感染管理、与薬管理、検査・ME機器管理)とし、その他として、安全管理、災害防火管理、救命救急処置、看護職員としての基本姿勢、患者家族との人間関係の確立について研修チェックリストを用い項目別に自己評価と他者評価(実地指導者)を行っていく。また、透析専門知識・技術の評価については院内研修マニュアルに基づき担当者が評価を行う。評価は基本的にポジティブフィードバックでおこない、最終評価は看護部門の教育担当者または研修責任者が行う。また評価時にはできたことを褒め一緒に喜び自己研鑽につながるような励ましの言葉を入れていく。

# IV. 指導者等の育成に関すること

## 1. 実地指導者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

院外研修として、和歌山県看護協会で行われた「新人看護職員研修責任者研修」への参加をし、実地指導者としての到達目標や求められる能力についての学習する。また、同協会主催の「指導者の知っておきたい、新人が起こしやすい医療事故とその防止」への研修参加をする。院内の取り組みとしては、基本的技術の指導・教育をするにあたり、事前学習を行う時間を取る事が出来るよう勤務体制を配慮する。教育担当者、研修責任者と共にプログラムの立案、実施、評価ができるように事業内容についての院内教育を行う。その他の院内研修として外部講師によるコーチング、カウンセリングスキル、コミュニケーションの能力を高めるための研修参加やグループワークに参加をする。実地指導者の精神的支援としてリフレッシュ研修への参加と担当者、責任者との交流を図るためのミーティングを定期的に行う。

## 2. 教育担当者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

和歌山県看護協会主催「新人看護職員研修責任者研修」、「今求められるリーダーシップとは」、「ベテラン看護師へのキャリアカウンセリング」への参加により新人看護職員研修が効果的に行われるよう、実地指導と新人看護職員への教育及び精神的支援について学習する。部署内外のスタッフへの事業内容、研修計画の伝達の役割とそれに係る全職員との適切な関係を築くコミュニケーション技術を身につけるため、院内研修(コーチング、カウンセリングスキル、接遇マナー、リスクマネジメント、看護倫理、医療安全セミナー)への参加をし学習する。新人看護職員実地指導者の指導上の問題を解決するため定期的なミーティングに参加する。

## V. 事業の評価等に関すること

### 1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

責任者研修終了後、全職員への伝達と周知徹底の方法や院内における教育担当者、実地指導者の選出及びそれを支える指導体制の構築までのプロセスに非常に神経を使った。新人看護職員が臨床現場に順応し、実践能力を獲得する為のサポート体制作りは所属部署のみならず他部署との連携をとることが大切であり、新人看護職員を全スタッフで育てて行くという気持ちが大切である。看護技術本や関連資料の厳選、購入に関しては担当者・指導者らと吟味し購入した。院内研修については研修資料、テキストの作成や講義の日程を勤務時間内に収める工夫をしたが、資料作成はなかなか勤務時間内で収めることができず、担当者や指導者が持ち帰っての作業になるなど負担が大きかった。院外研修については新人看護職員の勤務調整と現場の安全面を確保するためのスタッフの勤務配置の適正化を図る工夫をした。

### 2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

事業の効果としては、新人看護職員のみならず全スタッフの知識の向上と看護技術を再確認することができた。また、院外研修への参加や外部講師を院内に招くにあたり他施設や関連業者とのコミュニケーションが深まったと考えられる。この事業を導入したことにより看護の質の向上と医療安全の確保がされ新人看護職員の早期離職防止に効果的であると思われる。今後についても、新人看護職員が個々のスキルアップ(院外研修への積極的参加など)ができるよう新人看護職員研修を継続する方針である。